

検討対象のネットワーク構成モデルについて

令和4年5月20日
IPネットワーク設備委員会
事務局

モデル化の目的

- 自ら音声伝送携帯電話番号の指定を受けるMVNO・BWA事業者に係る技術基準の検討を行うに当たって、想定されるネットワーク構成図のモデル化を行う。
- 本ネットワーク構成モデルは、検討の際の参考とすることを目的にごく簡略化した形で提示するものであり、実際のネットワーク構成を限定するものではない。
- なお、詳細な設備構成については、今後、各社が関係事業者等との協議等を経て決定される。
- また、技術基準は、サービスの提供のために必要な全ての設備に対して一括して適用されるものであるため、設備構成がモデルと異なる場合でも、制度の運用上の支障は生じない。

<前提条件等>

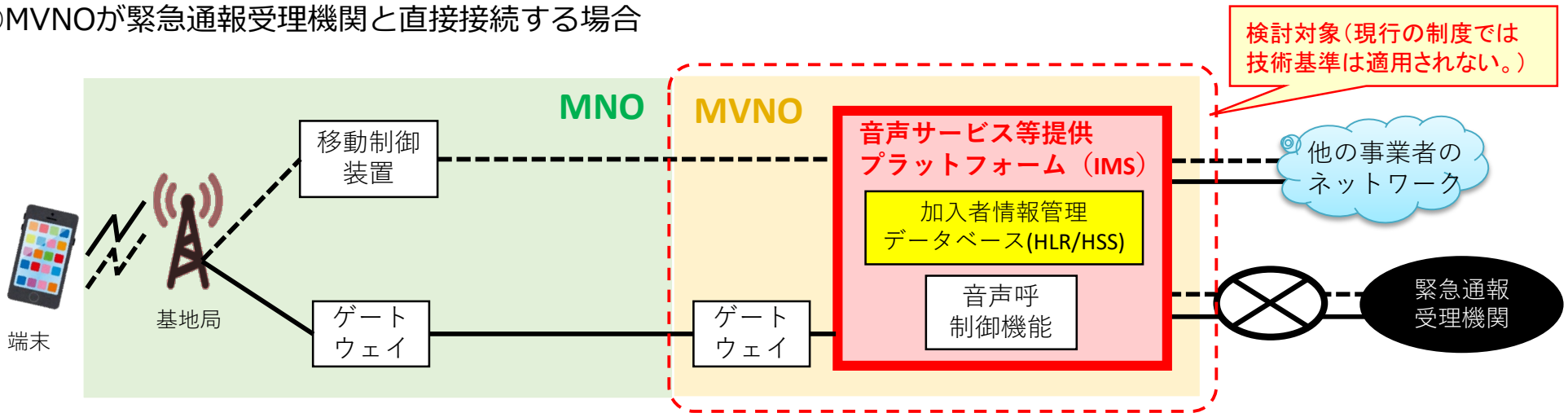
- MNOでは3Gの停波が進められており、3G停波後の当面の間はIMSをベースとしたVoLTE*での音声通話サービスの提供が中心となることが想定されるため、4Gでのネットワーク構成を前提とする。
- NTT東西においてPSTN(公衆交換電話網)からIP網への移行が進められていることから、他網との接続についてはIP接続を前提とする。

* VoLTE: Voice over LTE

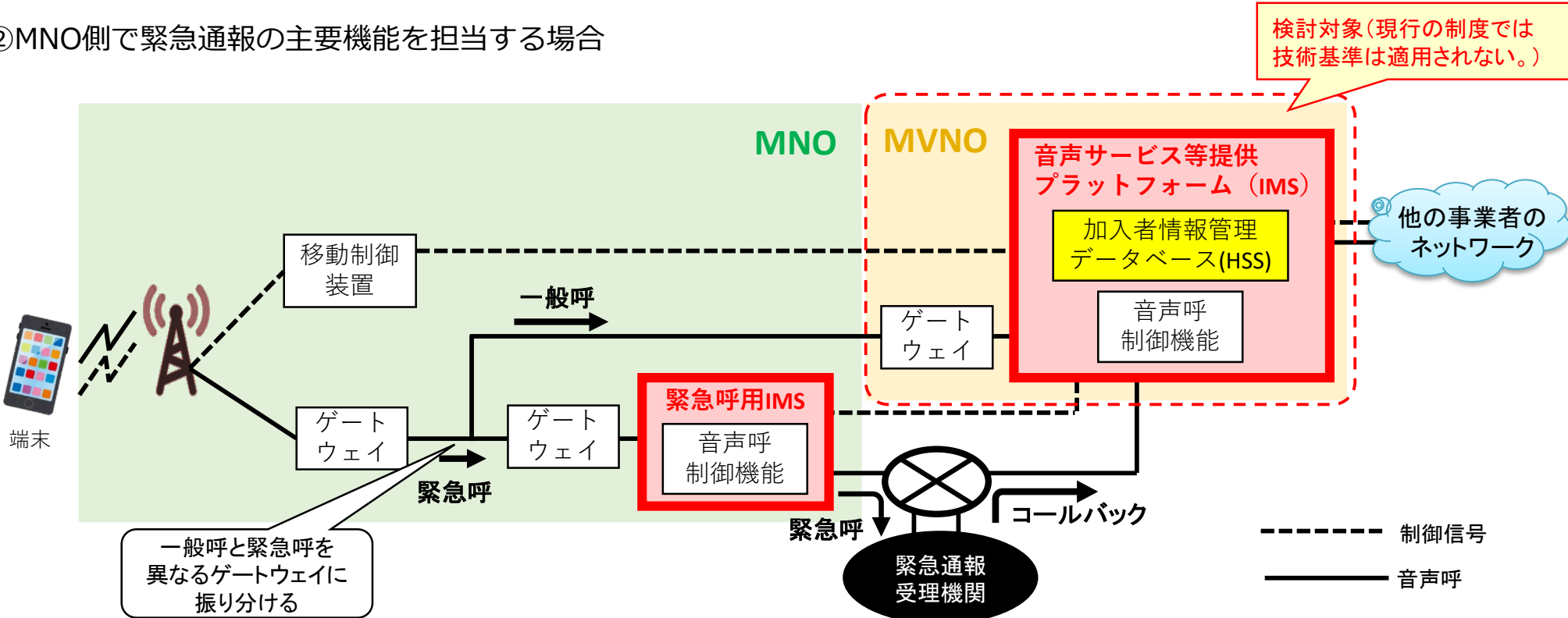
【3Gサービス終了時期】

KDDI	ソフトバンク	NTTドコモ
2022年3月実施済み	2024年1月予定	2026年3月予定

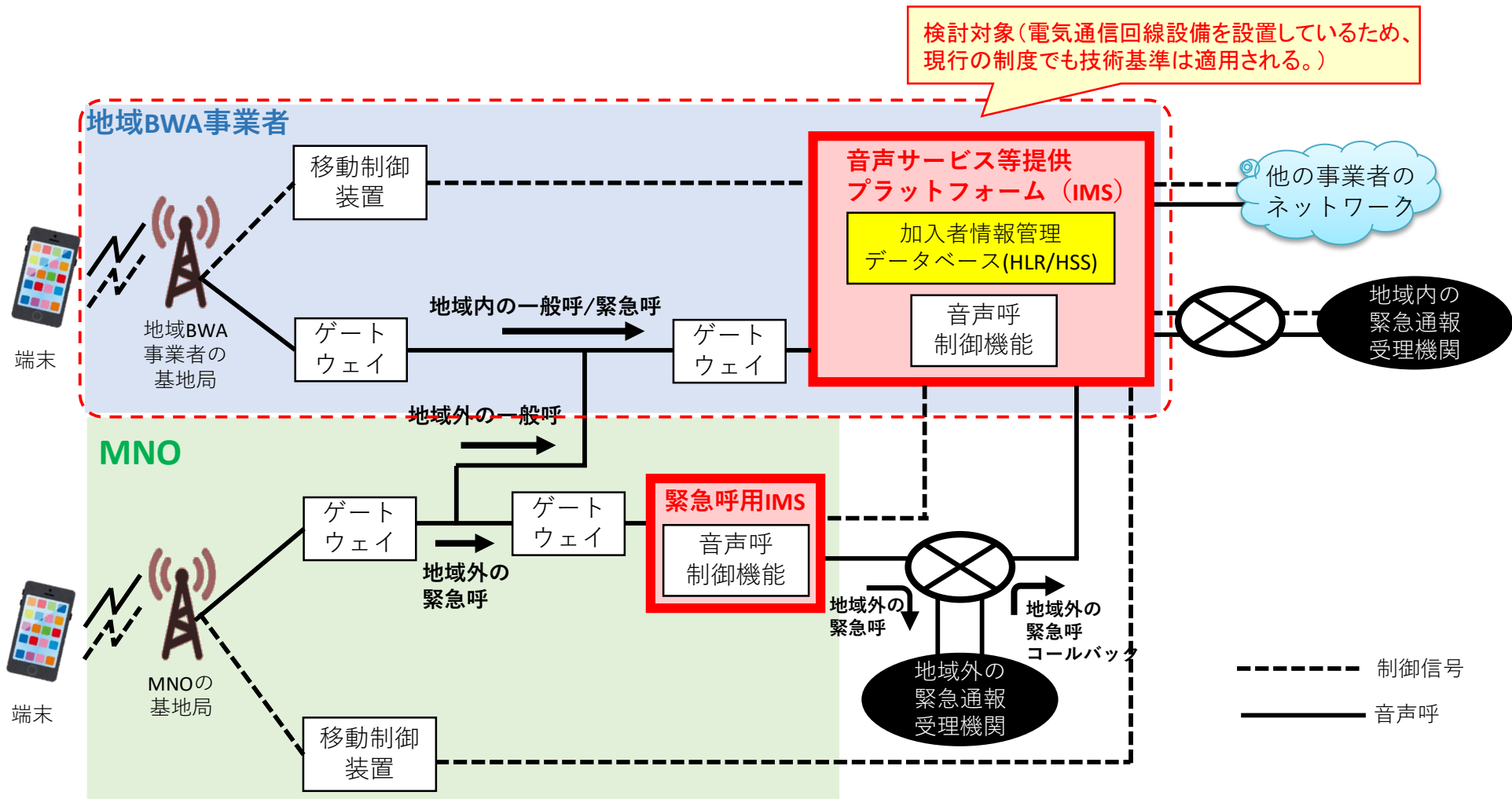
①MVNOが緊急通報受理機関と直接接続する場合



②MNO側で緊急通報の主要機能を担当する場合



③地域BWA事業者が音声伝送携帯電話番号の指定を受ける場合



④コア機能を提供する事業者（コア機能提供事業者）が音声伝送携帯電話番号の指定を受ける場合

